



「YS-11」量産初号機 公開プロジェクト

クラウドファンディング

国立科学博物館は、我が国唯一の純国産民間輸送機であるYS-11の量産初号機を20年にわたり羽田空港で整備・保管してきました。本機を多くの方に見ていただくために、ザ・ヒロサワ・シティ（茨城県筑西市）に移設しました。

移設のために分解した機体の組立作業を開始しましたが、昨今の新型コロナウイルスの影響による臨時休館や入場者数制限のために、入館料収入が激減し、財政状況が悪化しており、YS-11を組立てるための資金が不足しています。そのため、クラウドファンディングにより資金を募ります。どうかご支援をよろしく申し上げます。

クラウドファンディング
お申込みサイトはこちらから



※ A-portのサイトにつながります



国立科学博物館
National Museum of Nature and Science

[お問い合わせ]
〒110-8718 東京都台東区上野公園7-20 独立行政法人 国立科学博物館
(科学系博物館イノベーションセンター内) YS-11クラウドファンディング担当
電話: 03-3822-0111 e-mail: YS-11project@kahaku.go.jp

「YS-11」量産初号機とは？

国立科学博物館が保管する「YS-11」は、我が国航空機製造事業の期待を一身に受けた量産初号機です。機体登録番号JA8610は、YS-11全機中一番若い番号です。昭和40年3月に運輸省航空局に納入されたのち、飛行検査機として2万時間を超える飛行実績を有します。

我が国唯一の純国産開発の民間輸送機で、国家支援のもと性能・経済性等世界的評価を得て、世界で活躍したYS-11です。特に、現存するYS-11の中で試作機を除く最古の機体であり、我が国の飛行安全確認の点検機として任務を全うした航空機です。

平成19年には「機械遺産」（日本機械学会）に、平成20年には「重要航空遺産」（日本航空協会）として認定されています。

平成11年8月に運輸省から当館へ移管されて以降、当館ではYS-11量産初号機の良い保存に努めるため、羽田空港内の格納庫で保存を行ってきました。



1964年飛行検査機当時のYS-11

「YS-11」量産初号機の保存と公開

YS-11量産初号機は、我が国戦後復興の象徴であり、将来に継承していくべき国民の貴重な財産です。我が国の貴重な産業技術資料としての価値を保てるように、風雨の影響等を避けての屋内保管や継続的な定期点検の実施など計画的な保存に努めて、できる限り当時の状態に近い形で保存しながら、公開する予定です。

この重要な機体を、実際に多くの方に見学いただけますと幸いです。

